一般社団法人 MOA自然農法 文化事業団

美幌会

感謝と健康をベースにした 人・家庭・まちづくり

栃の木からの手紙

2025年 霜月 11月号

5日: 満月 旧 9月 16日

7日: 立冬

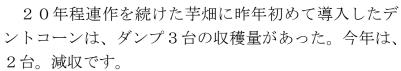
20日: 新月 旧 10月 1日

22日: 小雪

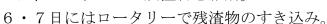


10月3日午後、有機JASのデントコーンの収穫が行われました。

専用の収穫機がデントコーンのつぶつぶの実だけを 収穫して並走するトラックの荷台に飛ばして行く。茎や 葉、コーンの軸等は細断されて畑にばら撒いて行く。



思えば、芋と同様の管理をしていた所に連作2年目。来年に向けては、更なる土づくりを考えなくてはならない。まずは、残渣物の分解を早める事。収穫10月3日の夜には、チョッパーで残渣物を細断。



16日醗酵鶏糞ペレット3号5袋散布。

20日夜に、隣接する慣行圃場で整地作業をしていると JAS畑に4頭の鹿が灯りに浮き上がる。

24日粒状脱脂糠2袋散布。

25日朝は、強い降霜があり真っ白です。

31日は夜からの豪雨に備 えて心土破砕をして雨を土 中に溜め込む様にしました。



11月1日予報通りの暴風雨。台風並みだろうか。 秋播き小麦以外の殆どの畑に心土破砕を行なっている為、 雨の多くは乾ききった畑に浸透して行くはず。

住宅前の秋播き小麦の畑からは、雨は畑表面を流れて倉庫の庭の方へと大量の雨水が流れていました。強風で屋根・壁のトタン剥がれ4枚在り。







